

自由民主党蒲郡市議団  
代表 大場 康 議

新型コロナウイルス  
ワクチン接種計画について

**問** 個別接種・集団接種の接種計画について伺う。

**答** 現時点では、個別接種は市医師会への調査の結果、市内32か所の医療機関が接種可能な意向である。集団接種は、市民病院で平日毎日、保健医療センターで土日祝日いずれかでの接種を検討している。個別接種と集団接種の割合は8対2ぐらいと考える。

市民病院の安定経営  
について

**問** 令和3年度の医師の確保について伺う。

**答** 医師数は研修医13名を含め常勤医63名体制を見込む。新たに3年間の名古屋市立大学との寄附講座締結を予定しており、引き続き大学教員の身分を持った医師が数名派遣される。



患者さんに対して、最善の医療を行う市民病院

**問** 新棟建設の考え方について伺う。

**答** 寄附講座締結以降、経営状況、医療環境は大きく変化し、病院の役割と課題も増えている。3年度予算で建設後の経営分析、事業規模等を専門的に分析、提案する調査費用を計上し、調査で安定経営が見込まれた場合、基本設計、実施設計へ準備を進めていきたい。

東港地区のまちづくりの  
考えについて

**問** 埋立地の市街化調整区域の土地を市街化区域に編入する考え及び編入にあたっての行政の取組は。

**答** 編入により民間施設等の立地可能性も検討しながら、まちづくりに生かしていきたいと考えている。三河港港湾計画の4年度改訂に向け、竹島ベイパークから竹島ふ頭周辺が交流厚生用地として見直されるよう県との調整、5年度に都市計画マスタープランへの位置づけ、実現性のある土地利用計画の策定等により編入を進めていきたい。

蒲郡自由クラブ  
代表 稲吉 郭 哲

地震防災・風水害対策の  
拡充について

**問** 災害からの逃げ遅れをゼロにする取組をどのように行っていくか伺う。



**答** 市民一人一人が避難情報等を正しく理解し、避難行動に移すことが重要である。防災行政無線・防災ラジオは有効な情報伝達手段であり、デジタル防災ラジオの普及に併せて、屋外拡声子局もデジタル化を進め、防災情報を正確に伝達する体制づくりを進める。

地球温暖化対策の推進  
について

**問** ゼロカーボンシティを宣言したが、どのように取り組むのか伺う。

**答** 宣言を契機に、これまで以上に市民と一体となり、カーボンニュートラルを推進し、脱炭素社会の実現に向け取り組んでいく。

公明党蒲郡市議団  
代表 松本 昌 成

新型コロナウイルス  
感染症対策について

**問** ワクチンの接種でアナフィラキシーショックが起きたときの対応方法は。



**答** 接種会場に救急対応ができる薬品等を備える。接種後15分から30分は待機、経過観察を行い、症状発生時は医師が処置を行う。また、重篤な場合等の状況により病院へ救急搬送する。

**問** 患者の市民病院の病床確保について伺う。

**答** 年末年始以降の感染拡大のピークを迎え、県や保健所の病床拡充要請を受け、最大時には19床での運用を申し出ている。

学校教育について

**問** スクールソーシャルワーカー設置の考えは。